



1998年川崎医科大学卒業。大阪市立大学（現・大阪公立大学）医学部附属病院整形外科へ入職し、近畿圏内の関連病院で研修を積む。2009年に高宮彦辺病院高宮人工関節センターへ入職。副センター長を務める。膝や股関節の人工関節置換術などで執刀した経験から整形外科疾患の予防や早期治療の重要性を痛感。2017年に開業。

ることで、患者の症状の細かな変化を捉えらるるのがメリットだ。患者の病歴やその日の症状に合わせて筋肉はくすなどの運動療法を実施する。理学療法士とは定期的に院内ミーティングを行い、互いにフィードバックし合って、患者さんのためにチームによる医療を提供していきたいですね」と院長は語る。

「足指、外反母趾など、足の疾患に悩む患者さんが増えています」と院長。電気治療やインソール治療、運動器リハビリなどを組み合わせて、痛みの軽減や症状の改善をめざしている。

「今日は、課題である待ち時間を少しでも減らそうように体制を改善して、通院していただきやすい環境を整えていきたいですね。そして変わらず、患者さんのお話を丁寧に伺い、予防医学や早期治療に取り組み、皆さんの健康を支えていきたいと思っています」

力を入れている  
治療・検査

コロナ禍以降、肩凝りに悩む患者の来院が増えたという同院。「肩凝りの原因で最も多いのは姿勢の問題。いわゆるストレートネックです」という政田院長。スマートフォンやパソコンの操作で首が前傾し続けると、首の骨である頸椎のカーブが失われ、頭の重さを支える僧帽筋が緊張し続けるために肩凝りが引き起こされる。同院では症状の原因に合わせて、リハビリや筋膜リリースで痛みの軽減や筋肉の質の向上をめざす。一方で頑固な痛みが続く場合には、エコーガイド下での筋膜リリース注射を検討。エコー画像を見ながら注射を行うため安全性に配慮でき、治療後の変化を患者が自覚しやすいのもメリットだ。



肩凝り治療の筋膜リリース。患者と一緒に画像を見ながら行う



「骨のかりつけ医」をモニターに患者と親密な関係を築いてきた

DATA

Tel 0798-69-3330

Add 西宮市西橋町5-16  
野村ビル1F西宮駅前2F

Map P000 X-0 0798-69-3330

月	火	水	木	金	土	日	祝
●	●	●	●	●	●	●	●
9:00-12:00	●	●	●	●	●	●	●
16:00-19:00	●	●	●	●	●	●	●

※臨時休診あり

「骨のかりつけ医」を提唱し  
予防・早期発見に力を尽くす

「只神戸線西宮駅の北側出口からすぐの便利な場所にある「まさだ整形外科」。政田俊明院長は、勤務医時代に、数多くの人工関節置換術に携わった経験から、手術に至る前の段階から骨の健康を維持して痛みやけがを予防する「骨の

かりつけ医」を提唱。痛みやしびれ、肩凝りなどの改善に加え、骨粗しょう症の早期発見や、筋力や関節の機能を高めるリハビリなどに力を入れている。

「特に女性はホルモンバランスが変化し始める40代から急速に骨密度が低下していくため、早めに骨密度検査を受けることをお勧めします」



緑かみのある落ち着いた空間の待合室 患者者とコミュニケーションを図りながら丁寧な診療を心がける「リハビリルーム」。ストレッチやトレーニングなど運動指導を行う

院での手術に必ず立ち会うほか、術後の経過も細かく確認。令和5年に開業から6周年を迎え、気軽に頼れる整形外科として地域での存在感を高めてきた。

特に高齢者の健康寿命を損なう「寝たきり」は、転倒や骨粗しょう症による骨折から始まる場合も多い。そこで同院では、骨粗しょう症の診療に力を入れている。「骨粗しょう症は自覚症状がはばないまま進行するため、検査で骨密度の低下を見つけることが早期発見に直結します」と院長。同院ではDEXA法を用いた装置を導入しており、全身の骨密度を短時間で測定。さらに血液検査で骨代謝マーカーを測定することにより、骨吸収・骨形成のバランスを把握。病態や生活スタイルに応じて選択した治療薬を服用・注射することで進行抑制を図っていく。

「特に女性はホルモンバランスが変化し始める40代から急速に骨密度が低下していくため、早めに骨密度検査を受けることをお勧めします」

編集部  
eyes

政田院長が大切にしているのは「患者さんの思いを第一に考えること」。例えば、院長が得意とする人工関節手術は痛みを緩和するのに有用ですが、中には手術をしたくないと考える方も、中には手術をしたくないと考える方も、院長

は患者さんの症状と不安な気持ちに寄り添い、ご本人が納得できる医療の提供に努めていると感じました。またスタッフさんとのチームワークも良く、気軽に相談しやすい印象でした。